

2年 ファインアート科版画専攻

シルクスクリーン2

担当教員 東樋口徹

受講アトリエ [402、工房]

2019/6/6(木)-2019/6/28(金)

9:00-12:10 13:00-16:00

授業内容

基本的な水性インクで紙に刷る4版4色を使った作品(A4/21cm×29.7cm)を一点(紙4枚程度)、5版以上を使った作品(A3/29.7cm×42cm)を一点(紙8枚程度)制作。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月6日	木		制作 版画概論	○	オリエンテーション・技法説明	
2	6月7日	金	○	技法説明・制作	○	技法説明・制作	
3	6月8日	土		制作 日本語		制作/映像ワーク	
4	6月9日	日					
5	6月10日	月		制作 フランス語		制作	
6	6月11日	火		現代美術演習A		制作	
7	6月12日	水		制作	○	色々な刷り方説明	
8	6月13日	木		制作		制作	
9	6月14日	金		制作		制作/海外特別講座	
10	6月15日	土		制作 日本語		制作/特別講座	
11	6月16日	日					
12	6月17日	月		制作 フランス語	○	制作	
13	6月18日	火		現代美術演習A		制作	
14	6月19日	水		制作		制作	
15	6月20日	木		制作 版画概論	○	制作	
16	6月21日	金		制作		絵画技法実習	
17	6月22日	土		制作 日本語		制作/映像ワーク	
18	6月23日	日					
19	6月24日	月		制作 フランス語	○	制作	
20	6月25日	火		現代美術演習B		制作	
21	6月26日	水		制作	○	制作	
22	6月27日	木		制作		制作	
23	6月28日	金	○	講評		絵画技法実習	

学習目標

シルクスクリーン版画制作を通して孔版画の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。基本の直接製版方法を重ねて実習し環境にやさしい水性インクを使用し刷紙に刷ります。PCを使用した4色分解による4版4色の作品(18×25cm位)を1点、5版以上を使った作品(25×40cm位)を1点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多彩な効果を会得していきます。

予習・準備物

写真orイラストのデータ(200~300ppi程度の解像度でA4サイズ程度)、下絵(A3程度)、紙コップ、プラスチックスプーン、ウエス(ボロ布)、新聞紙、用紙(いづみまたは厚紙ケント紙)、制作マニュアル、マスキングテープ、試し刷り用紙(なんでも可)

注意事項

初日までにPCを使用した4色分解による作品用の写真orイラストのデータを用意すること。(短辺が1500pixel以上の物)

評価方法

習熟度と提出課題による採点

2年 ファインアート科版画専攻

銅版画2

担当教員 山本剛史

2019/5/10(金)-2019/6/5(水)

受講アトリエ [402、工房]

9:00-12:10 13:00-16:00

授業内容

エッチング、アクアチント、ドライポイント、リフトグラウンド、ソフトグラウンドエッチング、など銅版画の代表的な技法を紹介します。製版と刷り作業を実演した後、2つ以上の技法を選択し作品制作へと進んでもらいます。『提出用作品』は2枚を予定しています。支持体となる版画用紙はハーネミュレを使用。画面サイズ200×280mm。紙サイズ300×380mm。刷り上げた作品にはサインとエディションを入れて提出していただきます。最後は講評会にて、実際にやってみた感想とそれぞれの作品について皆で話し合い授業を終了とします。

授業スケジュール/計画

		指導	AM	指導	PM	備考
1	5月10日	金	○	オリエンテーション	○	実演/講義
2	5月11日	土		制作 日本語		制作/映像ワーク
3	5月12日	日				
4	5月13日	月		制作 フランス語2		制作
5	5月14日	火		現代美術演習		絵画技法実習
6	5月15日	水		制作	○	実演/講義
7	5月16日	木		制作		制作
8	5月17日	金		制作	○	試作チェック
9	5月18日	土		制作		制作/映像ワーク
10	5月19日	日				
11	5月20日	月		制作 フランス語2		制作
12	5月21日	火		現代美術演習		絵画技法実習
13	5月22日	水		制作		制作
14	5月23日	木		制作 版画概論		制作
15	5月24日	金		制作	○	試作チェック
16	5月25日	土		制作 日本語		制作/映像ワーク
17	5月26日	日				
18	5月27日	月		制作 フランス語2		制作
19	5月28日	火		現代美術演習		絵画技法実習
20	5月29日	水		制作	○	試作チェック
21	5月30日	木		制作		制作
22	5月31日	金		制作	○	試作チェック
23	6月1日	土		制作/留学生報告会		制作/映像ワーク
24	6月2日	日				
25	6月3日	月		制作 フランス語2	○	制作
26	6月4日	火		現代美術演習		絵画技法実習
27	6月5日	水		制作	○	講評会

学習目標

銅版画技法に触れ、この面白さを体感し、今後の制作プロセスの幅を広げて頂ければと思います。銅版画には色々な技法がありますが、その中のいくつかを組み合わせ、自身の作品を制作してもらいます。版画表現は『写し取る』ことによって初めて成立する独特な手法です。どの工程においても丁寧に取り組むことが、作品に驚くほど影響します。この体験によって制作態度における誠意の大切さと『写し取った』自らの作品に直面する新鮮な驚きを学習して頂きたいです。

予習・準備物

予習: 自分なりに過去の、そして現代までの版画作品を紐解き、好みの作品や版種などを2、3点見つけておいて下さい。準備物: ◇インク(グラフィックケミカル/No135c stiff Black)(シャルボネ/セピア・ザンギユイン)(文房堂・白)◇グラウンド(文房堂) & (シャルボネ固形)◇裏止め用ワニス◇塩化ビニールシート◇リグロイン◇プリントクリーナー◇人絹◇寒冷紗◇ニードル人数分◇ハーネミュレ(学生購入)◇ピカール◇松脂等アクアセット◇ポスターカラー白&平筆、リフトグラウンドセット◇ソフトグラウンド固形

注意事項

版画はその成り立ち上、『一気にやっつける』という手法では作品を仕上げられません。どの工程も分がちがたく意味を持ち、逆に申し上げるなら工程を丁寧に身につければ、作品の質の高さや新しい自分の個性を見いだせるチャンスは高まります。そのことをいつも念頭に置き、授業に臨んで下さい。版画にとって『紙』及び『道具』の扱いは大切です。授業の中で折々触れて参りますのでその扱いの基礎をしっかりと聞き取り、実践していくよう取り組んでください。

評価方法

課題作品70% 制作態度・積極性30%

2年ファインアート科版画専攻

リトグラフA

担当教員 中村真理

受講アトリエ [402・工房]

4/10(水)~5/9(木)

9:00-12:10 13:00-16:00

授業内容

リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月10日	水	○	オリエンテーション、行程の説明、版の裁断、エスキースのチェック等		描画	
2	4月11日	木		描画	○	刷りのデモ、紙の裁断、試しの版の刷り	
3	4月12日	金		描画		紙すき研修ガイダンス	
4	4月13日	土		日本語 制作		制作	
5	4月14日	日					
6	4月15日	月		制作 フランス語		描画	
7	4月16日	火		現代美術演習A		絵画技法実習	
8	4月17日	水		描画、第一製版、刷りの準備	○	製版、刷り	
9	4月18日	木		製版、刷り	○	製版、刷り、2枚目の描画	
10	4月19日	金		描画		描画	
11	4月20日	土		日本語 制作		制作	
12	4月21日	日					
13	4月22日	月		制作 フランス語		描画、製版	
14	4月23日	火		現代美術演習A		絵画技法実習	
15	4月24日	水		研修旅行			
16	4月25日	木		研修旅行			
17	4月26日	金				描画、製版、刷り	
18	5月7日	火		現代美術演習A		絵画技法実習	
19	5月8日	水		製版、刷り	○	製版、刷り	
20	5月9日	木		制作 版画概論	○	刷り、講評	

学習目標

講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。

予習・準備物

アルミ版(45、5×60、6cm)制作のもとになるエスキース、ウエス、新聞紙、紙(上質紙、いづみ等)、描画材(ダーマトグラフ、リトクレヨン、油性ボールペン等)、定規、筆、鉛筆、マスキングテープ等

注意事項

作業行程の多い技法です、計画的に進めること。オリエンテーションまでに作品の元となるエスキースは仕上げてください。アルミ版は上記のものを半分に裁断し使用します、1枚は試しの版として使い、もう1枚を提出用の作品として制作します。

評価方法

提出課題による採点

2年 ファインアート科

絵画技法実習

担当教員 安藤孝浩

受講アトリエ 【501】

4/9(火)~6/4(火)

13:00-16:00

授業内容

北方ルネサンスから20世紀のウィーン幻想派に至るまで、様々な絵画表現に用いられたテンペラと油彩による混合技法、及びルーベンスを中心としたバロック期の油彩によるグリザイユを中心に学ぶ。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月9日	火		現代美術演習A	○	オリエンテーション 下地塗り3層乾燥後に図版の写し	図版は予め学生が準備
2	4月16日	火		現代美術演習A	○	地透層（インプリマトゥーラ） 白色浮出	卵テンペラ 溶油の調合 他
3	4月23日	火		現代美術演習A	○	油絵の具1層目及び白色浮出	
4	5月7日	火		現代美術演習A	○	油絵の具2層目及び白色浮出	
5	5月14日	火		現代美術演習A	○	制作	
6	5月21日	火		現代美術演習A	○	制作	
7	5月28日	火		現代美術演習A	○	制作	
8	6月4日	火		現代美術演習A	○	講評	採点

学習目標

ルネサンスから近代に至るまでの西洋絵画の主な油彩技法を習得することを目的とする。

予習・準備物

描きたい図版（写真）を各自準備する。図版はなるべく陰影があるものが望ましい。（人物、動物、花などの植物、静物）
尚図版は初日オリエンテーションの際に講師がチェックします。描きにくい図版の場合変更してもらいます。

注意事項

評価方法

提出課題による採点

- 制作期間に見合う十分な完成度があるか
- 技術的な側面として混合技法の特徴を引き出した作品であるか
- 絵画表現として豊かな感性が感じられるか等

2年 ファインアート科

現代美術演習 A

担当教員 山本 晶

受講アトリエ [501]

4/9(火)~6/18(火)

9:00-12:10

授業内容

発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。美術の様々な表現方法を分析しテーマに対してどのように実践をするか演習します。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月9日	火	○	オリエンテーション		絵画技法	デッサン道具・画用紙（貸出し画板と同じ大きさを印章）・画板
2	4月16日	火	○	演習I：自己と表現		絵画技法	1年次に制作した作品1点
3	4月23日	火	○	演習II：人の考え		絵画技法	
4	5月7日	火	○	演習III-I：描かれるもの		絵画技法	
5	5月14日	火	○	演習III-II：描かれるもの		絵画技法	
6	5月21日	火	○	演習IV：色について		絵画技法	水彩絵具・複数の石膏像
7	5月28日	火	○	演習V：破壊と再構成		絵画技法	雑誌・本・ポスター等持参
8	6月4日	火	○	演習VI：拡張する絵画		絵画技法	
9	6月11日	火	○	演習VII：現代の美術		絵画技法	
10	6月18日	火	○	講評		絵画技法	

学習目標

より一層多様化する美術表現に対する理解力を身につける。

予習・準備物

オリエンテーション初日はデッサン道具・画用紙（貸出し画板と同じ大きさ）を用意してきて下さい。各回画材と支持体を準備してもらいます。授業の最後に次週準備するものをお伝えします。

注意事項

評価方法

提出課題による採点